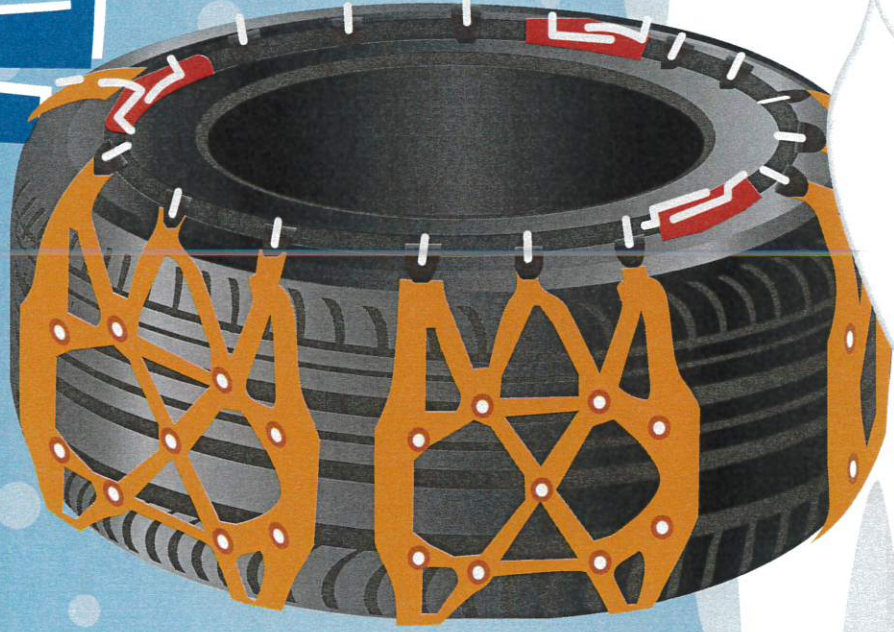


冬装備を
万全に!

雪

用心!



細心の注意で安全運転



雪道に“習熟ドライバー”は存在しない

冬、日本列島の約半分は雪の中。高速道路も多くが降雪地帯を通過しています。NEXCO東日本、NEXCO中日本、NEXCO西日本では、除雪作業などを通じ、お客さまに安全で快適な雪道走行をしていただけるよう努めています。雪道での交通事故は後を絶ちません。

雪道はすべりやすく“急”のつく運転としては危ないこと、また降雪・吹雪などで見通しが悪いため車間距離を十分にとりスピードも控えめにしなければ危険なことは、誰でも知識として持っています。しかし実際の事故の多くはスピードの出し過ぎ・車間距離不足のなかで発生しています。また、自身の運転技術や車の性能を過信し、普段と路面状況の異なる雪道での思わぬ動きに対応できず事故となってしまう場合もあります。あなたがこれまで雪道で事故に遭わなかったとしてもそれは運がよかっただけかも……。

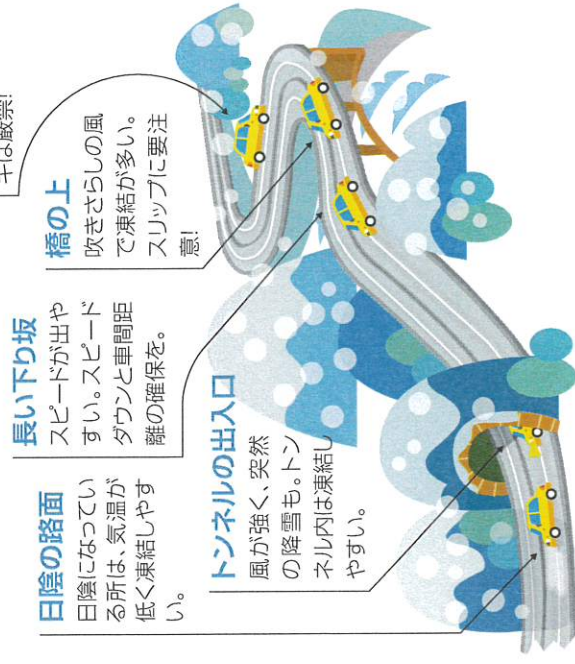
雪道の運転には、初心者もエキスパートもありません。この小冊子「雪用心」をよくお読みのうえ、慎重な運転を心がけてください。



雪道の安全運転心得

- ① 運転技術や車の性能を過信せず
- ② 先を読み
- ③ 無理をせず
- ④ 冬用タイヤ装着など 早めの冬装備を心掛けてください

冬の高速道路 こんな場所には特に注意!

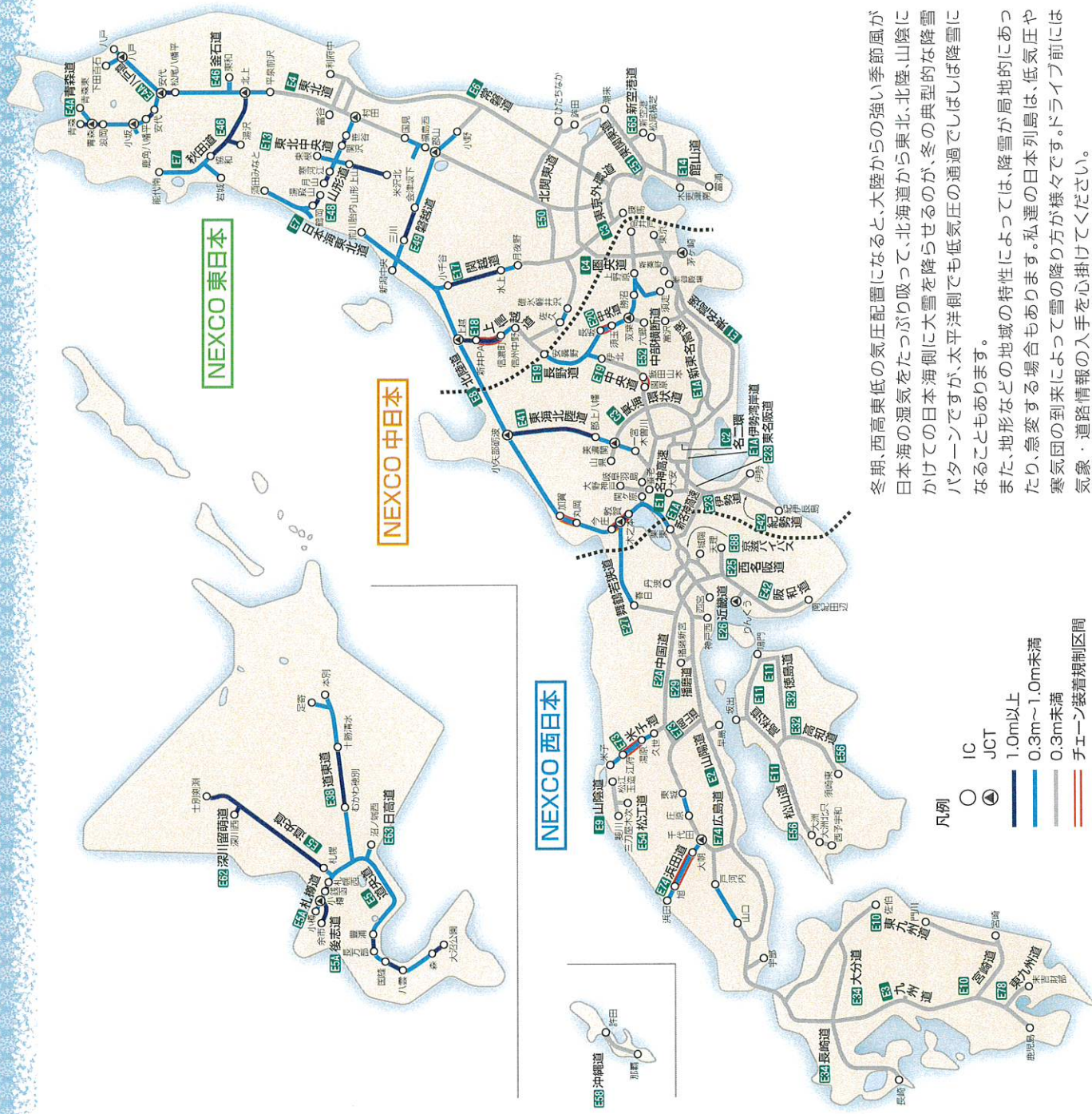


カーブの手前
カーブ手前は
減速し、急ハン
ドル・急ブレー
キは厳禁!

CONTENTS

■ 雪道に“習熟ドライバー”は存在しない	01-02
■ 高速道路網と最大積雪深図	03-04
■ 雪道には冬用タイヤを! チェーンの携行も忘れずに!	05-08
■ ドライブ前の点検等チェック事項	09
■ 急がず、無理せず、ゆとりのドライブを	10
■ “過信”の陰に“危険”がひそむ	11-12
■ 除雪作業等へのご理解・ご協力をお願いします	13
■ 雪道の頼りは、情報のキャッチから	14-17
■ お出かけ前にチェック	18

高速道路網と最大積雪深図



冬期、西高東低の気圧配置になると、大陸からの強い季節風が日本海の湿気をたっぷり吸って、北海道から東北、北陸、山陰にかけての日本海側に大雪を降らせるのが、冬の典型的な降雪パターンですが、太平洋側でも低気圧の通過でしばしば降雪に
なることもあります。

また、地形などの地域の特性によっては、降雪が局地的にあり
たり、急変する場合もあります。私達の日本列島は、低気圧や
寒気団の到来によって雪の降り方が様々です。ドライブ前には
気象・道路情報の入手を心掛けてください。

雪道には冬用タイヤを!チェーンの携行も忘れずに!

全国にネットワークが広がる高速道路。冬になると出発地は晴れていても目的地や通過地点で雪が降っていることもあり、冬の高速道路では、スタッドレスタイヤなどの冬用タイヤの装着とタイヤチェーンの携行をお願いします。また、これらの装備が万全であっても絶対に滑らないという確証はありませんので、スピードを控えるなど一層の安全運転を心掛けましょう。

●スタッドレスタイヤ

低温でもしなやかさを失わない特殊配合ゴムを採用。溝の形、切り込み(サイビング)を改良し、従来のスノータイヤよりも制動性能が大幅に向上しています。



●スノータイヤ

雪や凍結路面での制動を良くするため普通のタイヤより表面に大きな凹凸をつけ、広くて深い溝で確実に雪をつかめる(グリップできる)ようにしたタイヤです。



●タイヤチェーン

スタッドレスなどの冬用タイヤに比べ、最大の制動効果を上げることが出来ます。冬用タイヤといえども、決して万能ではありません。降雪の状況によって、全車両チェーン装着規制が実施される場合もあります。タイヤに頼らず必ずタイヤチェーンを用意してください。



※冬用タイヤ(スタッドレスタイヤ、スノータイヤ)の側面(サイドウォール)には、STUDLESS又はSNOWの文字があります。

※オールシーズンタイヤ(側面にM+S、M.S、M&S又はM/Sの文字がある)は、ある程度までは積雪路面にも対応可能ですが、冬用タイヤに比べ制動性能が劣るため、降雪状況や路面状況によっては冬用タイヤ規制の際などに高速道路を走行できない場合があります。

●滑りやすさはこんなに違う



注)摩擦係数とは、タイヤと路面間の摩擦力の大きさを表す指数をいい、指数が小さいほどすべりやすいうことを意味しています。

資料:(一社)日本自動車タイヤ協会

ひと口に積雪、凍結といっても、「ベタ雪」「サラサラ雪」「新雪」「圧雪」「シャーベット」「部分凍結」などがあり、地域や場所、気温や降雪量、時間帯、日なたと日陰の違いなどによって様々な表情をもっているのです。冬の高速道路では安全に走行していただくために、**冬用タイヤ規制(すべり止め装置装着規制)**を行う場合があります。冬用タイヤ規制を行っている場合は、冬用タイヤ(スタッドレスタイヤなど)またはタイヤチェーンなどのすべり止め装置を装着していない車は走行できません。(装着が必要な装置は、各都道府県によって異なります。)また、**大雪特別警報や大雪に関する緊急発表が行われるような異例の大雪時には、全車輪が冬用タイヤでもチェーンを装着しないと走行できない「チェーン規制」を行うこともあります。**冬の高速道路では、どの地域にお住まいの方も冬用タイヤの装着はもちろん、万が一の事態に備えて必ずタイヤチェーンを携行してください。

参考 すべり止め装置装着規制・チェーン装着規制
(詳細は都道府県の道路交通法施行細則をご確認ください)

規制	内容
冬用タイヤ規制 (すべり止めの装置装着規制)	<p>【チェーンの場合】 駆動輪への装着が必要です。 (一部の県では全車輪へ装着が必要).....</p> <p>【冬用タイヤの場合】 全車輪への装着が必要です。</p>
チェーン規制	全車輪または駆動輪へのチェーンの装着が必要です。

「チェーン規制」時のチェーン装着義務化

省令の改正*に伴い「チェーン規制」実施時のチェーン装着が義務化されました。チェーン規制実施区間では、冬用タイヤでもタイヤチェーンを装着しないと走行できません。

※2018年12月14日、道路法に基づく「道路標識、区画線及び道路標示に関する命令」改正。

【チェーン規制はいつ実施するの?】

「大雪特別警報」や「大雪」に対する緊急発表」が行われるような異例の大雪時に、区間を限定して実施します。



「チェーン規制」区間であることを表す標識



「チェーン規制」の区間を案内する情報板

チェーン規制が適用される区間など、詳しくは、国土交通省の公式WEBサイトで最新の情報をご確認ください。

都道府県道路交通法施行細則または道路交通法規則にて積雪または凍結した路面での冬用タイヤ装着等いわゆる防凍措置の義務が規制されています。(沖縄県は除く)

違反行為は反則金の適用となります。(大型車7千円、普通車6千円)



チェーン装着時の注意事項

事前の確認を忘れずに!

必ずタイヤのサイズにあったものを選び、説明書に従い、事前に装着のりハーサルをしておきましょう。実際の装着は寒い雪の中。練習しておくことで、スムーズに作業ができるようになります。

確実な装着と十分な点検を!

チェーンの緩み、ゴムバンド等のフックへの掛け忘れはチェーン脱落の原因となります。また、チェーンの磨耗・損傷はチェーン切れの原因となります。

スピードの出し過ぎは要注意!

スピードの出し過ぎは、チェーンの膨れ上がりによる車体への接触でチェーン切れの原因となります。また、走行中、異常音(ビチビチ・ゴツゴツなど)がしたら要注意。

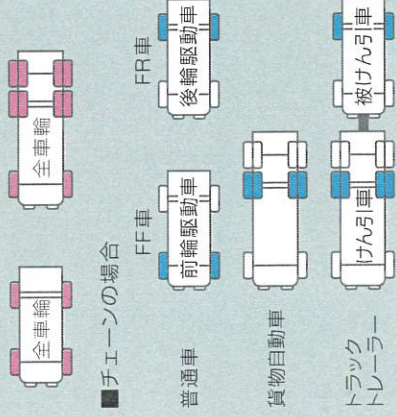
タイヤチェーンはこまめに着脱を!

「チェーン装着」の表示を見たら、最寄りのSA・PAかチェーン着脱場でチェーンを装着しましょう。本線上での装着は大変危険です。また、長大トンネル等では、チェーン切れ防止のためチェーンを外して走行して頂く区間があります。こまめな着脱にご協力をお願いします。



冬用タイヤ・チェーンの正しい取り付け位置

■冬用タイヤ(スタッドレスタイヤ・スノータイヤ)の場合



※チェーンの場合FF車は前輪に、FR車は後輪に装着してください。また、4WD車(四輪駆動車)は基本の車体構造(FF or FR)によって装着輪が異なるため、各車両の取扱い説明書で確認してください。

ドライブ前の点検等チェック事項



ドライブ前の点検・整備

- ✓ **バッテリー**
出発前、ガソリンスタンドなどでチェックしてもらいましょう。
- ✓ **不凍性軽油**
零下10℃以下では、普通の軽油は凍結することがあります。寒冷地に入る前にディーゼルの車は不凍性の燃料を補給。
- ✓ **燃料は満タンに**
雪道では、普段より燃料消費が早いもの。燃料計を常にチェック。
- ✓ **ワイパーブレード**
キズや割れ目はないか。できれば雪に強いウインターブレードに交換。
- ✓ **ラジエーター&ウォッシュャー液**
不凍性ものを選択。ウォッシュャー液の補給も忘れずに。

“冬装備”チェックリスト

- 冬用タイヤ(スタッドレスタイヤまたはスノータイヤ)
- タイヤチェーン
- 釘金(切れたタイヤチェーンをつなぐ)
- 作業用手袋(軍手)
- 長靴
- 毛布・タオル類
- けん引ロープ
- スコップ
- スノーブラス
- 解氷剤(かぎ穴、ワイパー用)
- 輪止め
- ブースターケーブル(ディーゼル車またはディーゼルのコードを用意)
- 懐中電灯
- 携帯トイレ
- 飲料水
- 非常食

急がず、無理せず、ゆとりのドライブを

お出かけ前に情報収集!

冬の高速道路をご利用の際は、天気予報、交通情報などで、事前に道路の状況などをチェックしましょう。思わぬ渋滞に巻き込まれることを防ぐためにも、当日だけでなく数日前からの情報収集が大切です。また、大雪警報が発表された場合は、高速道路で事前の計画通行止めとなる場合があります。その際は、高速道路会社のホームページで、いつからどの路線(区間)が通行止めになる恐れがあるかをお知らせしますので、お出かけをお控えください。



時間にゆとりのあるドライブ計画を…

雪に出会うと、慌てたり、早くそこから抜け出そうと急いだりして、無理な運転をしてしまうがちです。それは雪道に慣れないドライバーほど陥りやすい心理です。また冬の高速道路では、速度規制や通行止めのケースもありますので、ゆとりのある走行計画を立ててください。



休憩もしつかり

無理をして先を急がず、いつもより多めにSA・PAで休憩をとり、車体やライトの雪落とし、スキー・スノーボードなど積載物のチェック、気象・道路情報確認もお忘れなく。



零下のガス欠は一大事! 早めの給油を…

速度規制や事故で渋滞・ストップをしても、暖房のためエンジンは止められません。零下にもなる中でガス欠を起こしてしまうと、寒さで凍える大ピンチ! ディーゼル車は空になってしまうと構造上燃料を入れるだけでなくエア抜き作業も必要となります。SA・PAのガソリンスタンドで早めに給油をしましょう。雪国のスタンドでは、チェーンやゴムひき軍手などを販売しているところもあります。

屋根の雪を落としてから走行を!

車の屋根の上に雪を高く積もらせそのまま走行すると、高速道路を走行中に落下して後続車が乗り上げるおそれがあります。また、雪の塊を避けようとして事故につながることもあるため、走行前には必ず屋根の雪を落としてください。



キャリアがゆるまないように

スキー、スノーボードキャリアはしっかりと取りつけてください。また、スキー板の取り付けは、チェーンを必ず前方に。途中のSA・PAで、ゆるみがないかチェックしましょう。

積荷のチェックを!

貨物車の場合は、偏った積載による横転や、タイヤ空転などのおそれもありますので、積荷の状況にも十分ご注意ください。

“過信”の陰に“危険”がひそむ

車の性能に神話はない

4WD(4輪駆動)、TCS(トラクションコントロールシステム)、ABS(アンチロックブレーキシステム)、走行支援システムなど、車の高性能・高機能化が進んでいきます。しかしこれらは、あくまでも「走る、曲がる、止まる」という車の基本的な動きを助ける、付加機能に過ぎません。現実の雪道・凍結した路面には、テクニクもテクノロジーも通用しない。“予期せぬできごと”がひそんでいます。なによりも過信しない運転、無理しないドライブを心掛けてください。

うごけない…



災害対策基本法に基づく車両の移動等について

豪雪による災害発生時、災害対策基本法第76条の6の規定に基づき、対象となる区間を指定のうえ、区間内の放置車両・立ち往生車両を移動させて頂く場合があります。

災害対策基本法に基づく車両の移動は、緊急通行車両の通行の妨げとなり、災害応急対策の実施に著しい支障を生じさせる場合に実施する緊急措置です。ご理解とご協力をお願いします。

FFもFRも雪道では同じ

FFは前輪駆動車、FRは後輪駆動車。エンジンとつながる駆動輪がどちらにしているかの違いです。一般的にFFの方がカーブ時の安定性が良いとされていますが、それは乾いた路面でのこと。FF神話も、また成立しないのです。なお、タイヤチェーンは駆動輪の両輪(FFは前輪、FRは後輪)に取り付けます。



雪道での“急”は厳禁！

- 急 ハンドル
- 急 加速
- 急 ブレーキ

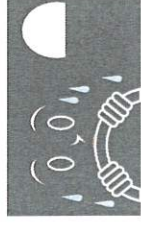
事故のもと！



雪道で遭遇する思いがけないこと

▲ ブラックホール、ホワイトホール現象

明るい雪晴れの道から暗いトンネルに入ると、目が慣れずに真っ暗に感じるブラックホール現象。逆に、暗いところから明るいところに出て眩しさを覚えるホワイトホール現象。サングラス等を用意して状況変化に備えましょう。



▲ わだちにはハンドルを取られる

踏み固められた圧雪状態の路面は、傾いていたり、凸凹していたり、わだちができていたりします。こんなところでは予想もしない方向に車が向いてしまうことがあります。

▲ アイスバーン(つるつる凍結路面)はスケートリンクと同じ

アイスバーンの路面は、乾燥路面の8倍もすべりやすく、一度すべり出したらほとんどコントロールが利かなくなります。

▲ シャーベットは急にすべり出す

雪の降り始めや雪解け時に起きるシャーベット状態。タイヤの溝に雪がつままった時など、突然すべり出します。

▲ 地吹雪で前が見えない

地吹雪は地上2メートルくらいまで巻き上がります。トラックなど大型車は平気なのに、乗用車は前後左右の視界が完全に失われることがあります。

▲ 雪はねで目の前真っ白

大型車などと並行して走っているとき、車輪で雪をはねられ、一瞬目の前が見えなくなることがあります。あわてて急ブレーキや急ハンドルの操作を行わないようにしましょう。

▲ フイバーが浮き上がって利かない

フロントガラスに溜った雪がたまり、フイバーを浮き上がらせ、動いていてもまったく利かなくなることがあります。出発前にアイススクレーパーなどでフロントガラスの雪や氷を除いてください。

▲ ヘッドライト、テールランプに雪が付着

前が見えにくく、後ろの車からも確認しづらいので危険。SA・PAでこまめに除いてください。

▲ タイヤハウスに着氷

走行中に跳ね上げた雪が、タイヤハウスに付着して氷のかたまりに。ハンドル操作の妨げになります。大きくなる前に取り除きましょう。

▲ トンネルでのガラス曇り

寒い日のトンネル進入時、急にフロントガラスが曇ることがあります。エアコンをつけたり窓を開けたりして外気との温度差を小さくしましょう。

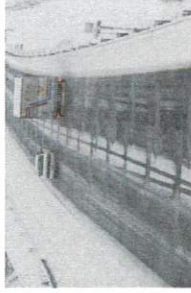
除雪作業等へのご理解・ご協力をお願いします

除雪や凍結防止の作業に遭遇したときは？



道路の雪を取り除き、凍結しないように凍結防止剤を散布する作業を行っているもので、複数台で車線をふさいだり、時速50km以下の低速で走行しています。追い越し、追い抜きをせず、車間距離を充分にとり作業車の後を走行してください。

また、一部の道路では、凍結が予想されるときや降雪時などに道路脇から溶液や水を散布する装置を設置しています。装置作動中は、道路に向け溶液や水が噴き出していますので慌てず安全に走行してください。



高速道路における緊急時の対処法

※本線上での駐車車は除雪作業の妨げにもなります。

事故・故障などのトラブルがあった場合は、まず後続車への合図を行い、同乗者も一緒にカードレールの外側など、安全な場所に避難し、**110番・非常電話**などですぐに通報してください。また、道路の異状や落下物などを発見した場合は、**道路緊急ダイヤル（#9910）**にご一報ください。

※切れたチェーンを路肩等に放置しないでください。除雪機械にからまり、作業に支障をきたす原因となります。

【非常電話】

本線上（1kmおき）、トンネル内（200mおき）、インターチェンジ、SA・PA、バスストップ、非常駐車帯に設置されており、受話器を取るだけで道路管制センターにつながります。事故や故障の状況、負傷者の有無などを伝えてください。

【道路緊急ダイヤル（#9910）】

携帯電話・スマートフォンから【#9910】をダイヤルしてください。自動音声ガイダンスにしたがって高速道路を選択すると、最寄りの道路管制センターにつながります。道路の異状や場所などを伝えてください。全国の高速道路・国土交通省が管理する国道はすべて対象となり、24時間無料で利用ができます。

※運転中の携帯電話等の使用は、道路交通法により禁止されており、必ず同乗者の方から通報していただくか、SA・PAなど安全な場所に移動し、停車しておかけください。

雪道の頼りは、情報のキャッチから

降雪など悪天候が予想されるドライブでは、お出かけ前もお出かけ中も情報収集が大事です。気象と道路の正確な情報をつかんで安全運転をお願いします。

高速道路の情報はココでチェック！

《携帯・スマートフォンからでも交通情報》

全国の高速道路の交通情報や料金検索ができます。



○情報提供は無料です。（別途パケット通信料はお客さまのご負担となります。）

○道路交通法により運転中の携帯電話の使用は禁止されています。ご利用は出発前や休憩施設での駐車時、もしくは同乗者の方による操作をお願いいたします。

○各高速道路会社のツイッターでも、高速道路情報をお知らせしています。

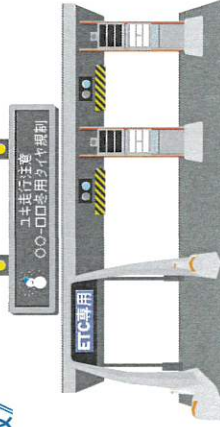
《インターチェンジ入口情報板》



情報板は現時点の道路・交通情報を的確にお知らせしています。降雪や吹雪等により高速道路が通行止めとなった場合には、一般道への迂回をお願いします。

《料金所情報板》

料金所入口ブースに
あります。道路・交通
情報をここでもう一
度再確認。



《本線情報板》



本線上のインターチェン
ジ手前にあり、そこから先
の道路・交通情報を表示。
通行止めで「ここ出よう」
という表示がされている
場合は、必ずそのイン
ターチェンジで流出してくだ
さい。例えば、その先で車
が動けなくなっているため
通り抜けられない等、高速
道路から出るのに何時間
もかかってしまう場合もあ
ります。

《広域情報板》

本線上にあり、そこから
先の広域の道路・交通
情報を表示。



《ハイウェイラジオ》



事故・渋滞・工事・気象などの必要な
道路情報を、カーラジオを通じてリ
アルタイムにお知らせ。

《可変式速度規制標識》



天候や路面の状況に応じて、規制速度
がかわります。

《警告板》

走行中に特に注意すべき内容を表示。



《カーナビ(VICS対応機)》



事故・渋滞・工事・気象などの必要
な道路・交通情報をVICS対応の
カーナビゲーションに文字や図
形などで表示。

《ハイウェイ情報ターミナル》

サービスエリアではハイウェイ情報ターミナルで道路交通情報を提供し
ています。行き先までの渋滞情報や、通行止め情報などをご確認いただけ
ます。



《休憩施設のインフォメーション》

高速道路やSA・PAで快適に過ごして頂くために、ご案内やお手伝いをさせていただきます。お困りの事やサービスエリアのお土産やおすすめのメニューから旅のご相談まで、お気軽にお声掛けください。



雪道のドライブは、状況をよみながら…

冬の気象や道路状況は刻々と変化していきます。冬道での万が一に備えて、常に最新の交通情報と気象情報を入力し、冬用タイヤやチェーン等の冬装備を万全に細心の注意で安全運転をお願いいたします。降雪が強くなったら、次のSA・PAで一息入れて様子を見ましょう。



お出かけ前にチェック

各高速道路会社の交通安全の取り組み

■ NEXCO東日本



HEARTFUL HIGHWAY



HEARTFUL HIGHWAYプロジェクトとは、高速道路を利用されるすべてのお客様に、知ってほしいルールや気づいてほしいマナーをお伝えすることにより、お客様とともに高速道路をもっと安全・快適な場所にしていく取り組みです。

■ NEXCO中日本



NEXCO中日本「高速道路交通安全セミナー」は、「いつでもどこでも」をモットーに、安全運転のポイントをご説明する出張講座です。写真やデータを織り交ぜながら、社員がご説明します。参加人数30名程度から、会場はお申込者様でご用意ください。

■ NEXCO西日本



「STOP! NAGARA DRIVING PROJECT」(通称「SNDプロジェクト」)は、ながら運転に代表される交通事故につながる危険運転を撲滅し、高速道路における交通事故ゼロを目指す交通安全啓発プロジェクトです。

緊急時通報先

事故や故障の際は、安全な場所に避難してから
下記にご一報ください。(通話料無料)
110番・非常電話・道路緊急ダイヤル(#9910)

高速道路情報案内

快適な高速道路のご利用を24時間係員がサポートいたします。高速道路をご利用の際、通行料金やETC割引、経路など高速道路情報の確認にご活用ください。

NEXCO東日本お客さまセンター

 **0570-024-024**
または **03-5308-2424**

NEXCO中日本お客さまセンター

 **0120-922-229**
PHS・IP 電話のお客さま **052-223-0333**

NEXCO西日本お客さまセンター

 **0120-924-863**
PHS・IP 電話のお客さま **06-6876-9031**

日本道路交通情報センター

道路交通情報がインターネットで見られます。

<https://www.jartic.or.jp/>

最新の道路情報についてお問い合わせを受けています。

- 全国・関東情報…050-3369-6600
- 北海道高速情報…050-3369-6760
- 東北高速情報…050-3369-6761
- 東北・常磐・関越高速情報…050-3369-6762
- 東名・新東名高速情報…050-3369-6763
- 中央・長野高速情報…050-3369-6764
- 新潟地方高速情報…050-3369-6765
- 東海地方高速情報…050-3369-6766
- 北陸道・東海北陸道情報…050-3369-6767
- 近畿地方高速情報…050-3369-6768
- 中国地方高速情報…050-3369-6769
- 四国地方高速情報…050-3369-6770
- 九州地方高速情報…050-3369-6771
- 沖縄情報…050-3369-6647
- 全国共通ダイヤル…050-3369-6666
- 携帯短縮ダイヤル…#8011

※最寄りのセンターに接続します。(通話料お客さま負担)

東日本高速道路(株) / 中日本高速道路(株) / 西日本高速道路(株) / (一財)道路厚生会

疲れを感じたらSA・PAでひとやすみ

(一)エスエーパ (パースナール)